

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載しております。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

### 取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

### お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品名や品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

### 安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

**警告**、 **注意**、 **注記**、 **アドバイス**のところは、とくにしっかりとお読み下さい。



取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です



取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。



取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。



この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

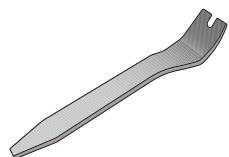
### 適合車種および適用年式

TOYOTA プリウス

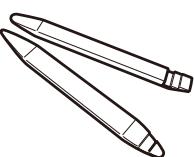
年式 2022/12 ~

型式 ZVW6#/MXWH6# 型

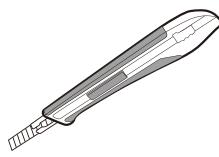
## 推奨準備工具



クリップリムーバー(樹脂タイプ)



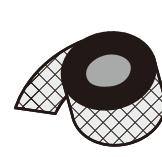
樹脂ヘラ



カッターナイフ



ハサミ



養生テープ



精密ドライバー(-)

### 取付準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(-)側コードを外して下さい。また(-)側コードは(+)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくと、後の調整がスムーズに行えます。

### 取扱い方法

本製品に付いた汚れは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げて下さい。

長時間放置すると汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。

本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

本製品はドレスアップを目的に製作されたLED製品です

Junack HP



取付け動画は  
コチラから



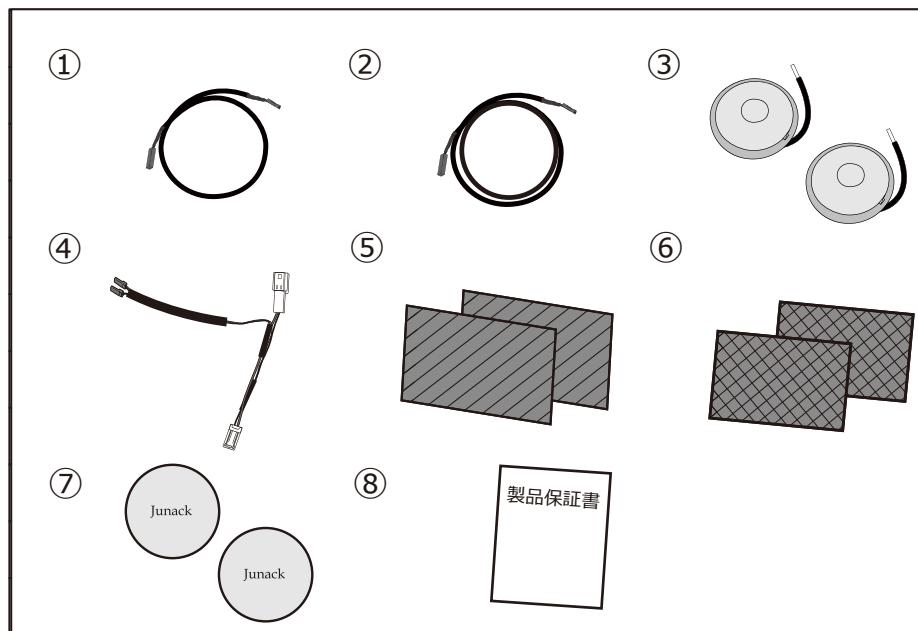
**JUNACK**  
[www.junack.com](http://www.junack.com)

### 注記

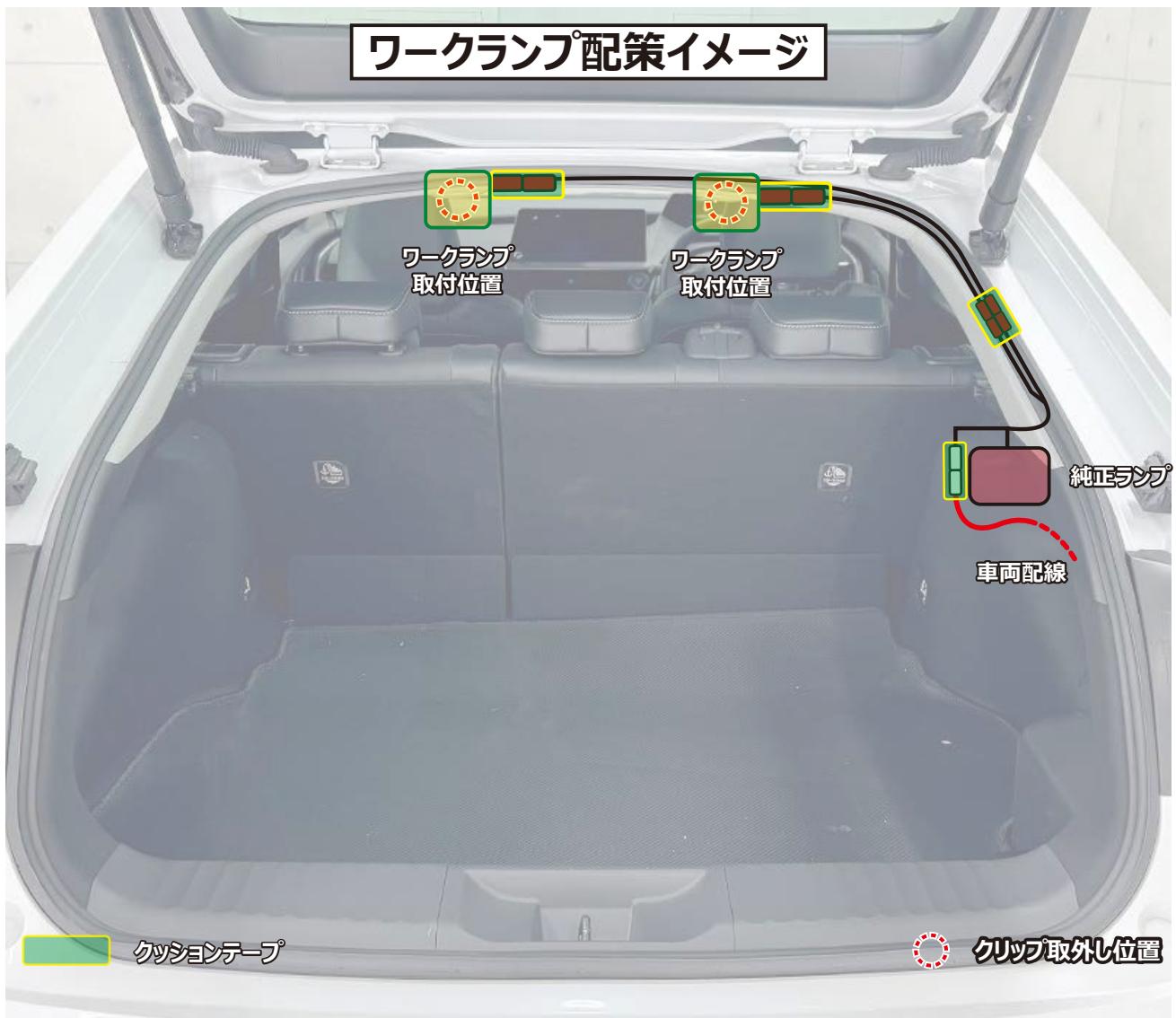
- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品は LED のため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

# ワークランプ配策イメージ

## 構成部品



NO.	部品名称	数量
①	中間ハーネス A( 長 )	1
②	中間ハーネス B( 短 )	1
③	ワークランプ灯体	2
④	電源取出用ハーネス	1
⑤	クッションテープ	2
⑥	面ファスナー	2
⑦	化粧シール	2
⑧	製品保証書	1



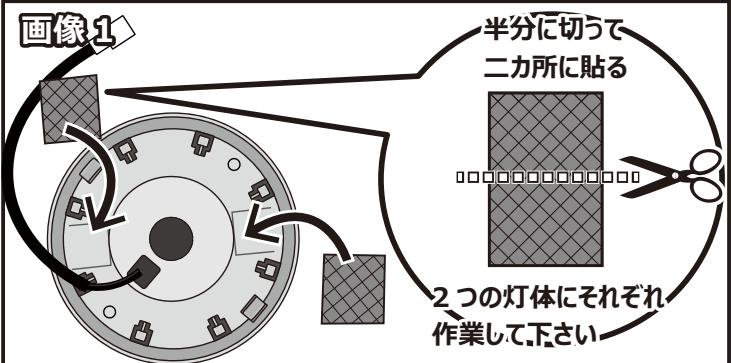
# ワークランプ取付け手順

## ①面ファスナーをカットする

画像 1 を参考に、付属の面ファスナーを半分に切り、

灯体本体の裏面にある  の形をした  
ケガキ線がある 2 か所に貼付けて下さい。

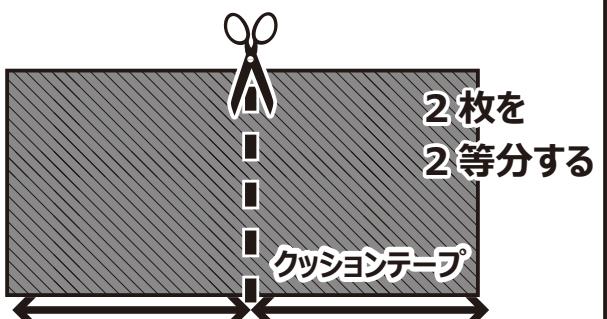
画像 1



## ②クッションテープをカットする

画像 2 を参考に、付属のクッションテープ 2 枚を  
2 等分して下さい。

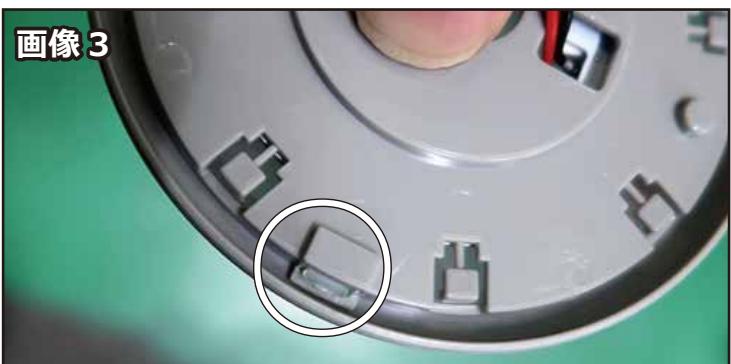
画像 2



## ③灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、画像 3 の  印部分を、  
画像 3-2 のようにマイナスドライバー等で  
押し込むとレンズが外れます。

画像 3



画像 3-2



## ④ラゲッジランプユニットの取外し

前 P 配策イメージ図の純正ランプ位置にあるラゲッジランプユニットを、  
画像 4 を参考に車両整備書に沿って正しい方法で外して下さい

### 注記

取り外しの際は内装パネルに傷をつける恐れがあるので  
養生テープ・樹脂ヘラ等を使用し十分に注意して  
作業して下さい

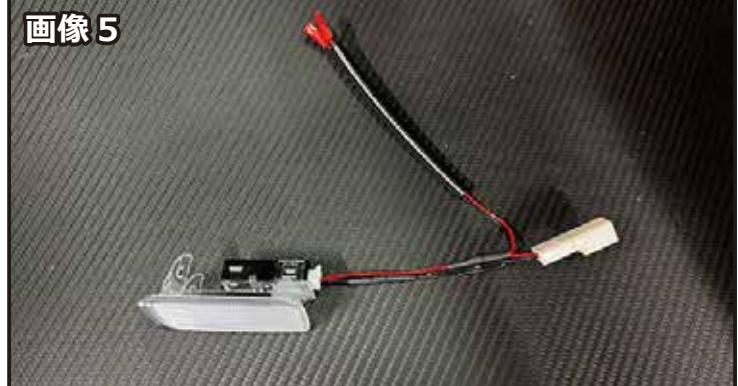
画像 4



## ⑤ラゲッジランプユニットと電源取り出し用ハーネスを接続

画像5を参考にラゲッジランプユニットと電源取り出し用ハーネスを接続して下さい。

画像5



## ⑥ウェザーストリップを外す

画像6を参考にウェザーストリップを外します。

■■■■■ 線部分の範囲まで外して下さい。

### アドバイス

ウェザーストリップを外す際に内貼りを汚さないように、  
外す範囲の内貼りに、画像6のように養生テープを  
貼付け、保護して下さい。この時、養生テープを  
押し付けすぎないように気を付けて下さい。  
養生テープをはがす際に内貼りが毛羽立つ原因になります。

画像6



## ⑦作業スペースの確保

画像7のラゲッジランプユニット側ルームパネルを浮かせ  
配策のための作業スペースを確保します。

○ 印部分にあるクリップを取り外し、30~50mm程  
スペースを確保して下さい。

### 注記

外したクリップが落下しないように気を付けて下さい。

画像7



## ⑧ワークランプ取付箇所のクリップを外す

本書2Pの配策イメージ図 ○ 印部分を参考に  
2カ所のクリップをクリップリムーバー等使用して取外します。  
クリップを外す際は内貼りを傷付けないよう、  
当て板等で保護して作業して下さい。

画像8



## ⑨配線逃がし加工

上記手順8で外したクリップ穴にカッター等を使って  
配線を逃がすための「スリット」を入れます(画像9)。  
車両後方へ垂直に20mm-25mm切って下さい。

### 注記

スリットを入れる位置・方向・長さをしっかり確認して  
作業して下さい。  
この切り込みはハーネスを逃す為なので、しっかり切って下さい。

画像9



## ⑩灯体本体の組付け

前 P 手順 6 で貼り付けた養生テープをワークランプ取付位置のみ外します。

### 注 記

外した養生テープは  
ウェザーストリップを戻す際に再度使用します。

画像 10 を参考にワークランプ取付箇所の「①クリップ穴」と「②灯体本体の中心」を合わせるように位置調整しながら、灯体本体のハーネスをクリップ穴から内貼り内部へ引き出して下さい。  
灯体本体が内貼りに密着するまで余分なハーネスを内貼り内部に引き出します。  
この時、前 P 手順 9 でカットしたクリップ穴のスリットに灯体本体ハーネスの根元を挟む（画像 10-2 ○印部分）ようにして下さい。

### 注 記

ハーネスを強く引っ張ると断線等の原因になりますので適切な箇所を持って引き出して下さい。

画像 10-3 を参考に、コネクタを引き出して下さい。

画像 10-4 を参考に、クリップ穴と灯体の中心が合っていることを確認しながら面ファスナーが密着するようにしっかりと内貼りに押し付けます。

### 注 記

基板に直接触らないように注意して下さい。

反対側も同手順で取付けて下さい。

灯体本体の組付けが終わったら、剥がした養生テープを戻して下さい。

## 画像 10

### ①クリップ穴



## 画像 10-2



## 画像 10-3



## 画像 10-4



### ⑪電源取出しハーネスと車両側コネクタの接続

画像11を参考に本書4P手順⑤で接続した電源取出しハーネスとラゲッジランプユニットの車両側のコネクタを接続します。コネクタの接続部分は付属のクッションテープを巻付けるように貼付け、しっかりと圧着して下さい。

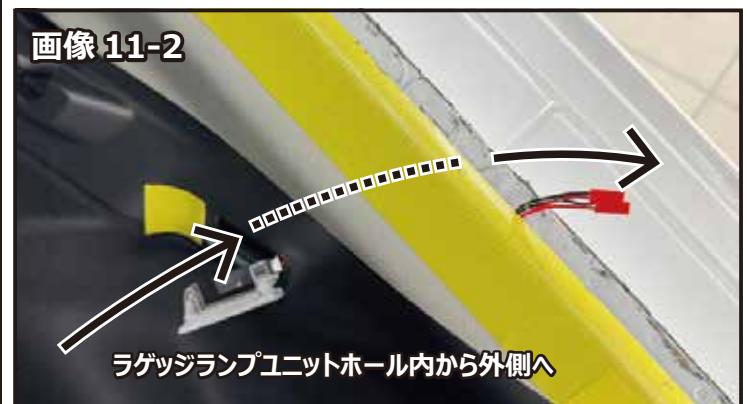
画像 11



画像11○印の赤色コネクタを

画像11-2を参考にラゲッジランプユニットホールから内張りの外へ通して下さい

画像 11-2



### ⑫電源取出しハーネスと中間ハーネスの接続・保護

画像12を参考に  
電源取出しハーネスと中間ハーネス2本を接続します。  
どちらのコネクタに接続しても問題ありません。

画像 12



画像12-2を参考に

コネクタ接続部分をまとめ、クッションテープを貼付けます。  
外れないようにしっかりと巻付けて圧着して下さい。

画像 12-2



### ⑬中間ハーネスと灯体本体ハーネスの接続・保護

画像13を参考に  
中間ハーネスと灯体本体ハーネスを接続します。  
**運転席側灯体本体ハーネスと中間ハーネスB(短)**  
**助手席側灯体本体ハーネスと中間ハーネスA(長)**  
を間違いのないよう接続して下さい。  
画像13を参考に接続部分にクッションテープを貼り、接続部分が外れないよう、巻付けるようにしっかりと圧着します。

画像 13



#### ⑯ハーネスの処理

画像14の赤斜線部、内貼りと車体の隙間にハーネスを収めます。



画像14-2を参考に、ハーネスに負荷のかからない適切なスペースにハーネスを収めて下さい。



## ⑯レンズの装着

ワークランプ本体固定用のクリップで固定し、  
2か所の灯体本体にレンズを装着します。画像15を参考に、  
ハウジングの切り欠きを合わせて押し込み、固定して下さい。

画像15



画像15-2を参考に付属の化粧シールを貼り付けて下さい。

画像15-2



## ⑯動作チェックと復元

画像16の図を参考に動作確認を行って下さい。  
また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。

また、レンズを軽く押すと点灯/消灯できます。  
取外したウェザーストリップ・車両部品等をすべて復元します。  
灯体本体の点灯および動作チェックをして下さい。  
また、車両すべての動作・機能が問題なく  
動作することを確認します。

画像16

バックドア	ワークランプ	ワークランプスイッチ
オープン	点灯	点灯 / 消灯
クローズ	消灯	-

画像16-2



### ⚠ 配線の処理に関して注意

配線は車両にあわせて適度な長さに切って取付けを行って下さい。

余った配線を束ねたり(結束/バンド等)、発熱する場所に固定すると、配線の断線や溶解など様々な不具合の原因になります。